

INDEX

新春の集い……………	1
臼井先生連載……………	2
新年抱負川柳……………	3
日常本音あれこれ……………	3
例会委員会報告……………	4
スケジュール/編集後記 ……	4

我が街・千葉市を真剣に討議！



地域と自社の関わりを探る

3月19日土曜日、第2回経営研修会が開かれました。午前中に雨が降るといふ悪コンディションの中、会員とビジター合わせて32名、講師3名、合計35名の参加にて午後2時より始まりました。

今年の研修会は「私たち経済人が地域とどのように関わっていくのか、自社を発展させるための勉強をしよう」という目的で企画されました。

まずは、鈴木達也千葉市副市長より「千葉市の目指す地方創生」をお話いただきました。実は鈴木市副市長と尾形会長は旧知の間柄だそうで、そのご縁を大切に今回の公演を引き受けていただいたそうです。

私たちが毎日生活しているこの千葉市という街を数値化して考えることは、見慣れたものが新鮮に感じられ、他の地域にない千葉市の特性を改めて感じました。

待機児童ゼロのメリット

身近なところとして、千葉市の昼夜間人口比率が抜群に高いこと、県内東部・南部の住民の買い物圏となっていることがはっきりとわかり、顧客のターゲティングだけでなく、人材募集のターゲティングにもすぐに役立つのではないかと思います。

そして、待機児童がゼロという現状は、若い夫婦がこれからも千葉市に住み続けてくれることを意味します。

その若い世代に職住がバランスしている千葉市をアピールしていくことは、10年後、20年後への自社の長期経営計画（「社長の夢」も含んで）を達成し得る好材料ではないでしょうか。

千葉市を住民にとって魅力ある素敵な街にしたいという想いは誰もが同じです。

「行政だけではなく、皆さんを巻き込んで、皆さんと情報を共有して、同じ方向に向かって進んでいきたい」

と話す鈴木副市長の言葉に頷いたのは私だけではなかったと思います。

共感多々のパネルディスカッション

そのあと休憩をはさんでパネルディスカッションが始まりました。

荒谷コーディネーターが口火を切り、鈴木副市長、林元副市長、小川市議、尾形会長の4人のパネラーがそれぞれの立場から「市民参画を活性化するには?」「千葉市としてもっと地域の活性化を図るためには?」などのテーマでディスカッションしました。

特に私が共感したのは、小川市議からの次のような話でした。

「千葉市民は千葉市の良いところは?と聞かれると、うーん……となってしまふ。これが問題なのです」

「だからこそ、副市長の重点戦力にもありましたが、千葉市民が誇れるものをもっともっとアピールして、後世へ引き継いでいくことが大切なのです（加曽利貝塚や千葉氏のことなど）」

私たち月星会の会員は、これからも千葉市のことでまだまだ不足する部分、力を入れるべき点などを指摘することでしょう、でもその言葉の後には、口にせずとも「大好きな千葉市が良くなるために」という言葉が心の中でいつも加わっていることをここに約束いたします。

(研修委員長 桐谷美千子)

“初千葉城”と桜を満喫！

夕暮れ時の千葉城前広場では、大道芸が賑やかに開催されており、花見に訪れた方々を喜ばせていました。

桜はちょうど満開の見頃を迎えており、天候にも恵まれて、最高に美しかったです（私は、実は初千葉城でした）。千葉城をバックに花を愛で、会員の皆さんと桜並木をそぞろ歩きしながら、景色を楽しみました。

花だけでなく、花見に興じる人々の様子も含め、その場がなんともいえない楽しい雰囲気に包まれていたのが印象的です。

花見と言えば桜の下で宴会、というのが定番ですが、今回は花を見てから場所を移しての宴会でした。割烹鳥悦で美味しいお酒とお料理をたくさんいただいて、臼井先生を囲んで、懇親のひとつときを楽しむことができました。

岩田相談役からはお酒の差し入れをいただき、ありがとうございました。

当日は、会員18名様のご参加でした。 （森本哲郎記）



会長手記

— 1年を振り返って —

充実の委員会活動に感謝！

月星会会長 尾形文貴

日頃は月星会の活動にご支援・ご協力を頂きありがとうございます。

私の会長任期も6月の総会で無事に終えようとしていますので、私なりの一年を振り返ってみようと思います。

2015年度当初の活動方針テーマを会長就任時に下記のように掲げました。

テーマ：よく遊び、よく学び、そして社会の役に立つ

月星会の活動を通して楽しく遊ぶときは遊び、しっかり勉強をするときは学ぶ姿勢を持ち、お互いが成長して、人として月星会の一員として社会の役に立ちましょう。

これから千葉市はどんどん変わります、それに追いつくためにもアンテナを高くして、時代の流れにあった会活動を実行していきましょう。

- 1 会員の為の委員会活動を充実します。
- 2 会員増強及び退会防止に努めます。
- 3 会のブランド名をアップさせるために広報活動に努めます。

以上の目標を立てましたが、ほとんどが目標倒れでした。しかし委員会活動は充実していたと思います。

振り返ってみれば、各委員会の委員長さんを軸に、委員の方々がとても協力的に委員会を運営されてきました。毎月のように夕食例会を担当いただいた永田委員長ありがとうございました。

自分が前年度例会委員長をやらせてもらって、講師選定



や打ち合わせやら大変苦労した記憶があるので、苦労がよくわかります。


広報委員長の森本さん、記念号やら川柳やら新しい企画を考えていただき、読み物としてのとても楽しい紙面づくりをありがとうございました。

経営研修委員長の桐谷さん、少ない委員をよくまとめていただき、2度にわたる研修を有意義なものにしていただきました。私が無理やり委員長に推挙してしまい、何もわらないまま どうしてよいか苦労したことと思います。千葉県の銚子と茨城県の神栖との都市計画の違いや子育て支援の違いなど、とても興味深いものでした。

また月星会では初めてだと思うのですが、鈴木副市長をお呼びしてのパネルディスカッション、面白かったです。機会があれば再度お願いしたいくらいです。

親睦委員長の木内さん、無理やり何もわからないまま委員長を引き受けていただき感謝です。ボーリングやゴルフ大会を復活させていただき、親睦旅行にはNHK大河ドラマの舞台となった信州上田城の見学と楽しい思い出作りをしていただきました。

以上の活動を支えてくれた副会長・幹事長・副幹事・事務局の方々、それに直前会長の面々お世話になりました。とても楽しい、かつ貴重な経験ができましたことに紙面を借りて感謝申し上げます。


 うすい日出男の
〈こくせいふかん〉の目

日本国憲法は悪法なのか？

自らの国の憲法を「悪法である！」と断定することは、誠に悲しむべきことだ。したがって本稿のテーマでは「悪法である！」と断定せずに、「悪法か？」と疑問符を付けた。

昭和20年の敗戦以降、わが国は「敗戦国としての路」を歩んできた。普通の国であるならば当然成さねばならない自らの国を守る義務も果たせなかったし、またその必要もなかった。

しかし、このことは「悪である」とは言えない。なにしろ戦いに敗れた国なのだから。進駐軍が「敗戦国日本には武力を持たせない」と決めた以上、その日本の憲法に、前文のように日本の安全と平和を他国の信義に委ねる文句があっても、第九条のような武力放棄の条文があっても、これを以て悪法とは言えない。

だが、時代の推移と共に国情も変化をしてくる。憲法のあり方も同様に、かつては誤りとはいえなかったものが誤りと判断されるようになってくる。

特に今回問題に取り上げる憲法前文は、その憲法の理念を示す最も大切な条文、いわば“顔”とも言える条文で、「日本国民は……平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」とする項目である。

憲法創設後、朝鮮戦争を契機に警察予備隊を経て保安隊を創設するに至って、もはや敗戦国だから、自らの国の安全も「他国の公正と信義に信頼して…」で済ましているわけにはいかない。

本来であれば、「日本の安全と平和は自らの力で保持する！」との決意が述べられていなければならないのに、戦後70年経った今日でも、言ってみれば「北朝鮮や中国などの国家の理念の異なる国々の公正と信義に信頼して安全と平和を守る」との同様の文章が述べられている日本国憲法は“悪法に変わってしまった”ということを実感しなければならない。

遅まきながら、我々日本国民はいまや時代の経過の中で“悪法”に変わってしまった日本国憲法の改正に向けて真剣に取り組むときが来ている。



元衆議院議員 臼井日出男

広報委員会わりのりコーナー

次号で第2回川柳特集を組みます。
お題は「お盆」「夏」「家族」。どしどしご応募下さい。

広報委員会は次回発行の7月20号紙面にて、第2回川柳大会を開催することにいたしました。

前回、賞をとった方も、とらなかつた方も、考え過ぎて締切りが過ぎてしまった方も、全然考えなかつた方も、もちろんハマりそうな方も、どしどしご応募ください。

前回受賞者のコメントと、選者(審査員長)を引き受けてくださる臼井先生の作品を掲載しました。参考にしていたかと、素敵なお作品ができるかもしれません。

●第1回川柳大会 [受賞コメント]

○最優秀作品賞 池田正勝会員

月星会 夜出るときに 名前借り

このたび会報つきばし102号におき新春特別企画川柳大会で最優秀作を貰いました。私は川柳が会報に載っていた時、ただ思い付きで川柳の字数に書いてみました。こんどまた川柳大会があったら皆様も簡単な気軽な気持ちで参加しましょう。私の句を選んでくれた審査委員の方をはじめ臼井審査委員長ありがとうございました。

○優秀作品賞 星野浩之会員

熟考し 抱負決まると 除夜の鐘

今回が初めて作った川柳でした。落語家になったつもりで、オチを作ることを考えました。臼井先生の講評がさすがに上手く、私の駄作を引き立てていただき、ありがとうございます。

「サラリーマン川柳」や「シルバー川柳」など、メッチャ面白いですね。ビギナーズラックで受賞できて、これを機に川柳作りにハマりそう？

〈新作〉 嬉しいね 人は褒められ やる気出る

○準優秀作品賞 金田敏彦会員

頓挫して 復帰の道で 夢拾う

「愚策川柳の心」事業に失敗、彼女にも逃げられた、正に泣き顔に蜂。立ち直らなければと焦る。オッ、人が来る！暗い顔だ！次は渋紙色の顔、今度のは悲しげだ。誰もが寂しく生きている。そうか、次はこれで勝負だ！光明が閃いた。

●臼井先生の川柳5作品 (数字は発表年)

(四季ごよみ“うすい日出男 川柳で語る”より)

愛妻が いつ化したのか おっかない (オッ家内) 2001
友情を 酒量で測る 愚痴話 2002
おかず減り 錠剤増える 食事どき 2008
おお寒い！ 帽子忘れて ハットした 2008
華やかに 老いを彩る 孫の声 2008

例会委員会報告

3月例会 平成28年3月24日(木)

於:鯨割烹みどり

3月の夕食例会は、元外交官で現在千葉経済大学の非常勤講師をされている中村義博様をお招きしての卓話でした。米国の大統領選挙における「ドナルド・トランプ現象」の分析、中国の膨張政策や経済の実態、ロシアの立ち位置や韓国・北朝鮮に対する見方など、豊富な経験と識見に裏打ちされた深いお話をお聞かせいただきました。

大学では国際関係論を担当し分野別15項目、国別15項目をカバーされている幅広さが持ち味とのことで、広い視野から日本の今後を考える機会となりました。会員の皆様からの突っ込んだ質疑にも関心の高さを感じました。

参加者は、会員24名、ビジター8名、講師1名でした。



4月例会 平成28年4月28日(木)

於:鯨割烹みどり

4月の夕食例会は、航空評論家としてテレビ番組等でもご活躍の秀島一生様をお招きしての卓話でした。テロ対策などの空港セキュリティ行政のあり方や、観光立国に向けて日本が取り組むべきことなど、国際線チーフパーサーとしての豊富な経験からの提言には何度も頷かされました。

昨今羽田空港への国際線シフトの動きがある一方、ロンドンやニューヨークなど先進国の大都市では複数の国際空港でカバーすることが常識であり、横田空域の制限もあって羽田上空の混雑が増していく中で、地理的にも安定性の高い成田空港が果たす役割は引き続き大きいとのお話に、千葉県の未来の可能性を心強く感じました。

参加者は、会員25名、ビジター1名、講師1名でした。

(3月、4月共、門山事務所・石原裕久)



熊本地震の被災地に義援金!

5月20日、尾形会長と林副会長が千葉日报社(千葉日報福祉事業団)に出向き、10万円を寄付しました。

4月の夕食例会にて尾形会長が発案し、全員が賛同したものです。



会員さんの日常本音トークあれこれ

川村博章さんの〈千葉市議会・四方山話〉



よもやま
以前の会報で、臼井正一県議が、千葉県議会の議員連盟のことを語られておりましたので、私からは千葉市議会の議員連盟についてお話しさせていただこうと思います。

千葉市議会の議員連盟も超党派で組織されていて、茂手木直忠議員を会長とするスポーツ振興議員連盟、私が会長を務めるオリンピック・パラリンピック推進議員連盟、観光議員連盟など特定の分野について研究するものや、日中友好議員連盟や日韓友好議員連盟と国際交流を図るものなどがあります。

また県議会同様、野球部、サッカー部など議員同士の交流、他団体とゲームを通じて交流を図るものもあります。

千葉市議会野球部では、毎年千葉県議会戦の他、JFE戦、千葉市歯科医師会・千葉緑ロータリーとの交流戦を実施していますが、なかなか勝つのがむずかしい状況です。

野球部長として、何とか今年度は勝利を手にしたと思うこの日この頃です。

6月～8月のスケジュール

6/8(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
6/23(木)	夕食例会	18:30開会 参加費 会員3,000円 ビジター4,000円	鯨割烹みどり
7/6(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
7/28(木)	夕食例会	18:30開会 参加費 会員3,000円 ビジター4,000円	鯨割烹みどり
8/3(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
8/25(木)	夕食例会	18:30開会 参加費 会員3,000円 ビジター4,000円	鯨割烹みどり

会員異動 代表者変更

鈴木隆博氏 (株)ムカイ 代表取締役

新事務所 〒260-0825 千葉市中央区村田町725-1 ルミエール101号

編集後記

昨年、広報委員長のお話をいただいてから、早いもので1年が過ぎました。個人的にも色々なことのあった1年だったかと、まもなく誕生日を迎える愛娘二人の姿を見ながら、週末にしみじみと感じていました。年度末を迎えるに至り、もっとこうすればよかったかな、という思いも頭をよぎりますが、さておき、皆様のお陰で年度内最後の会報をお届けすることができました。ありがとうございました。(森本)